

学校法人沼津頌栄学園 認定こども園しょうえい幼稚園

2024年度 自己評価表

評価者 24名	園長 石川望 副園長 浅井喜世美 主幹教諭 2名 担任9名 副担任3名 補佐8名
---------	--

1 経営理念	キリスト教保育	あそび・あそぶ・あそぼうから創造（自由）保育へ
	創造（自由）保育(統合保育)	—みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—

2 経営目標・評価項目・評価	☆評価基準 ◎よくできている ○できている △あまりできていない ×全くできていない ?分からない
----------------	---

つながる基礎		【経営目標】							
		1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。							
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
1	礼拝・お祈りを楽しい中にも静かに行い、子どもたちの心を落ち着かせる。	8	14	1		1	24	●まだ月齢が小さいのでこれからやるつもりでした。	残念に思います。 月齢が小さい子でも教師がお祈りをする姿を見て、聞いて、まねをすることが大事です。食事の前などはお祈りをしてください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
2	子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	11	12	1			24	●前もって「5になったらお片付けだよ」等声をかけている	昨年より◎や○が増えていきます。スムーズにできているようで良いと思います。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
3	子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	9	15				24		社会生活の始まりは幼稚園です。集団でのきまりが身につくように援助することは大事なことです。引き続きお願いします。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
4	子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	11	13				24	●子どもの発言や表情など、よく見てよく聞いて、すぐ気づくように心がけています。	子どもの表情や発言をよく見て聞くことは大切なことです。否定的な声掛けはせず、子どもの気持ちに寄り添った言葉を選んでほしいと思います。

	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
5	できるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	10	10	4			24	<ul style="list-style-type: none"> ●年末くらいからやっています。 ●給食の準備中や、自由遊び中であれば読んでいます。 自由遊び中は読み聞かせというより、子どもを膝にのせて一緒に読んでいます。 ●正社員の先生達が不在の時はなるべく自分が読むよう心掛けている。 ●『読んで』と持ってきてくれた時読んであげたり、給食前読んだりしています。 	絵本はこの園の特色なので、△以下がないように努めてください。 家で保護者が読み聞かせの時間をとれない家庭もあると思いますので、園ではたくさん読んであげてください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
6	絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさんの絵本と出会うよう努める。	7	14	2		1	24	●まだ図書室を使っていないので、お部屋の絵本と限定されています。	項目番号5と同様
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
7	子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるよう促す。	9	15				24	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもと一緒に集まったり、一緒に遊びを楽しむよう心がけています。 ●加配が必要な子はたまに気持ちが落ち着かず活動に参加しにくい場面もあるため無理強いをさせず様子を見ながら少しずつ参加できるよう心掛けている 	色々な子がいるので、一人一人に合わせて接してください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
8	子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	9	14	1			24	●くじ引きをして席をきめて色んな友達と関わる機会を増やす	ハンディキャップがある子どもたちは自分から集団に関わるのが難しいこともあるため、くじ引きなどで他の子と交流させるしかけが必要です。自分で言葉を発せない子もいるので大人が気づいてあげることが大切です。ただし無理強いをせず、その場で一緒に過ごすということが大切です。

ゆたかな心		【経営目標】							
		1、命の大切さ・平和への思いを育てる。							
		2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。							
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
9	子どもたちが身の回りの動物や虫などの生きものの誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。	5	10	6		3	24	<ul style="list-style-type: none"> ●園庭で見つけた虫など、命があることを伝え大事に扱うよう声をかける。 ●生き物がかりへの意識が低かった 	生きものがある園は、最近少なくなっています。せつかくの良い機会なのでたくさん触れ合ってください。免疫を高めることにも繋がります。
10	健康な生活・おいしい給食・絵本などを通して子どもたちと平和への思いを共有していますか。	5	15	3		1	24		今日もみんなと一緒に過ごせることは、あたりまえではなく幸せなことなんだと、子どもたちが分かるような声掛けをしてください。
11	それぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	8	11	3	1	1	24	<ul style="list-style-type: none"> ●身体面運動面等発達の差が大きく、戸外活動一つを見ても配慮する程度や場面が全く異なり、全ての子どもにとって適切な対応ができているか疑問に思うことがある。 ●対応が難しい子についてや、気づいた点など、職員間で情報を共有し、話し合っています。 ●支援の必要な子に対しての配慮の仕方など毎回戸惑うので、園としてどうするかきちんと話し合って決めてほしい。担任だけに負担がかかることのないよう、全体で話し合って色々なことを決めてほしい。研修ももっとたくさん行って学びたい。 ●もう少し分かりやすく端的に伝えていただきたい。 ●教師間で、学び合う時間や状況を共有できる時間があるといいなと思います。やなづめ先生が来た時もゆっくり話を聞く時間が作れるようにできるといいなと思います 	園として一律に対応決めることはできません。ハンディキャップのある子には、その子に合った対応が必要です。実際に関わる先生が気づいたことや相談したいことを、教師間で話し合うことが大事だと考えています。そのため、月2回インクルージョン保育専門の柳詰先生に来園していただき、保育室と一緒に1日を過ごしてみてもらい、助言指導をいただく時間を設けています。
12	子どもたちが自分の意見や考えを出すことができるよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じることができるよう促す。	9	13			2	24	●ともだち同士トラブルになったときは、お互いが納得するように仲介に入ります。	自分とは違う考えの子がいるということを知る良い機会です。けんかはチャンスです。否定的にとらえず成長のチャンスと思ってください。

信頼される幼稚園		【経営目標】							
		1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。							
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
13	しょうえいだより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	12	8	1	2	1	24	<ul style="list-style-type: none"> ●担任にお任せしている ●主担任にお任せしていますが、必ず目を通すようにしています。 ●担任の先生がしています ●自分が作成する事は無いため△にしました 	担任の先生が文章を考えているので、しょうえいだより発行に関する役割のない方もいると思います。園としてできているかどうかで評価していただきたいです。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
14	年2回（1学期と3学期）に保育参観を行う。	12	12				24	<ul style="list-style-type: none"> ●午前と午後は同じ日でもいいですが、午後は二学年同じ日ではなく1日、日にちをずらした方がいいと思います。 	アンケートをとるなどし、保護者が参加しやすいように日時を設定してください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
15	保護者への講演会（父母の会主催の影絵劇など）を年1回行う。	10	12		1	1	24		毎年行っています。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
16	園は、広く幼稚園を公開する。 ●ホームページ ●インスタグラム（こひつじ文庫案内・毎日の給食メニューを公開しています。）	9	10		1	4	24		毎月更新されているので良いと思います。続けてください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
17	送迎時など、保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	7	17				24	<ul style="list-style-type: none"> ●バス利用の保護者とはお会いできた時になるべく様子を詳しくお伝えしているが、お家での様子を聞いたり、園での様子を伝えられる機会が少なく感じる。 ●挨拶だけでなく、日常の様子など、時々話すようにしています。 ●まだ上手にお話で伝えられない年齢（2歳、年少）の子や送迎時コミュニケーションを守れない方には、コドモンで様子を伝えられると良いなと思う 	保護者からの希望もあるので年少まではもっと頻繁に様子を伝えてください。年中長は学期ごとには報告をするようにしてください。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
18	園の行事を無理なく円滑に行う。	5	14	3	1	1	24	<ul style="list-style-type: none"> ●年長の行事が多くて大変だと思う。年長の担任の負担が大きい。表現会、クリスマス会と何に2回発表会があるのも準備がなかなか大変。 ●表現会、お泊り会の辺りが忙しい？ 	年長の行事は多いですが、協力し合って継続してください。行事の日程を見直すなどし、無理なく準備ができるようにしてください。

	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
19	支援センターともだちの開放、こひつじ文庫（はらべこあおむしの会）、ショートステイなどを行い、園を広く知ってもらおう。	5	14	1	1	3	24	<ul style="list-style-type: none"> ●私は担当ではないので、ともだちの先生にお任せしています。 ●ともだちと園児との関わりに気を付けたい 	支援センターは園を知っていただく良い機会です。担当でなくても、来園者にはあいさつをしっかりしましょう。
	評価項目	◎	○	△	×	?	合計	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
20	日常の教師間の連絡体制	3	19	2			24	<ul style="list-style-type: none"> ●どうしても連絡漏れがあるのは事実。また職員会議を月に一回やってほしい。そうすれば行事のことなどそこでみんなで話し合っ決めてくれると思う。 ●教師同士が話しがち。子どもの話しかけが優先 ●ノートの配信でいつでも確認できていいと思います。毎日の教師会はメモ、ノートの配信、木曜日が金曜日に時間を作り、クラスの様子や困っている事など助言や話し合いができるよう少し長く教師会の時間が作れるといいなと思います（行事等ない時） 	教職員は45名以上いるため、全員が月に1回集まって話し合うことは現実的には難しいです。連絡ツール等を使い最大限努力してください。教師会の時間は日々十分にとっているのですが、悩みがある方には個別に対応し、助言できるような体制を整えてください。